



＼イザという時に知っておきたい！／

矯正装置のトラブル豆知識

拡大床編

今回はとりはずしの矯正装置のトラブル対応法です。

お休み中の最も多いトラブルは①失くすこと②旅行先に置いてきてしまうこと、です。特にファミリーレストランなど飲食店では捨てられてしまうので注意しましょう。

それでは、ご家庭でできる拡大床のトラブル対応法の主な4点をご紹介します。

1 「噛み合わせ部分のプラスチックが割れてしまった！」

痛くなければそのまま使用してOKです

口の中で傷ができていないか確認してください。少しのヒビや欠けは問題ありません。痛みがある場合、入れて違和感がある場合はご連絡ください。



2 「ワイヤーが切れてしまった！」

ピッタリしていればそのまま使用してOKです

入るとガタついて不安定になったり、上顎の装置などで落ちやすいような場合は修理が必要です。その際は早めにご来院ください。



3 「装着すると痛い！」

まず保護者の方がお口の中を覗いて状態を確認してください

・粘膜が赤くなっていたり、圧痕（強く押された跡）があればネジを1～2回転戻してみましょ。痛くなくなればそのまま使用してください。

・潰瘍やアフタ、傷などがあれば口内炎用のお薬を塗ってください。

ネジを1～2回転戻してみましょ。

それでもお痛みがある場合は一旦装置を外しましょ。早めにご来院ください。



4 「装着しても落ちてしまう時は？」

装置を正しいと思われる位置に押し付けてズレてないか確認しましょ

・粘膜と装置が合っていない場合はカタカタします。回転しすぎの可能性がありますので数回ネジを戻してみましょ。

・ワイヤーと歯がピッタリしない場合は、噛む力によってワイヤーが変形したと思われます。調整が必要です。早めにご来院ください。



トラブルを少なくするためには

- ・ **装置の清掃をしっかりとる！** →ネジに歯石がついてしまったり壊れやすくなるので、清潔を保ちましょ。
- ・ **噛みしめない！** →噛み締めるとワイヤーが変形したりプラスチック部分が割れたりします。
- ・ **外している時間を短くする！** →長時間外すと広げた幅が縮んでしまします。どうしても長時間外さなければいけない場合は食前5分だけでも入れてしっかり押さえると縮むのを防止できます。
- ・ **取り外しは両手で！** →慣れてくると片手で口の中に放り込んで、噛んで装着しているお子さんを見かけます。噛む力で装置のワイヤーが変形したりプラスチック部分が割れたりします。